

2018年9月27日

各位

大日本住友製薬株式会社

「Dow Jones Sustainability Indices (DJSI)」に2年連続採用

大日本住友製薬株式会社(本社:大阪市、社長:野村博)は、このたび、社会的責任投資(SRI)*の代表的な指数である、「2018Dow Jones Sustainability Indices (DJSI)」のアジア・太平洋版である「Dow Jones Sustainability Asia/Pacific Index (DJSI Asia/Pacific)」の構成銘柄に、2年連続で採用されましたので、お知らせします。

DJSIは、米国のS&P Dow Jones Index社とスイスのRobecoSAM社が提携して開発したSRI指標で、経済、環境、社会の3つの側面から企業の持続可能性(サステナビリティ)を評価し、優れた会社を認定するものです。

当社は、特に、「品質管理・回収体制」、「医薬品アクセス向上のための戦略」などの項目において高く評価され、DJSIに採用されました。また、「DJSI」と同様に世界的なSRI指数である「FTSE4Good Index Series」に16年連続、「MSCI(モルガン・スタンレー・キャピタル・インターナショナル)Global Sustainability Indexes」に7年連続採用されています。

当社は、社会に対する使命を、「人々の健康で豊かな生活のために、研究開発を基盤とした新たな価値の創造により、広く社会に貢献する」という「企業理念」に掲げ、その実践を「当社のCSR経営」と定義しています。今後もCSR経営を実践し、持続的な企業価値向上を目指していきます。

* 社会的責任投資(SRI: Social Responsible Investment): 財務分析に加えて、ESG(環境・社会・ガバナンス)といった側面から企業の社会的責任を評価し、それを加味して行う投資のことです。

MEMBER OF
**Dow Jones
Sustainability Indices**
In Collaboration with RobecoSAM 

以上